

再評価結果案（平成16年度事業継続予定箇所）

担当課：北海道開発局建設部地方整備課
担当課長名：吉井厚志

事業名	主要地方道 夕張新得線		事業区分	北海道	事業主体	北海道	
起終点	自：北海道勇払郡占冠村赤岩 至：北海道勇払郡占冠村赤岩				延長	2.8 km	
事業概要	夕張新得線は、夕張市から十勝管内新得町に至る延長約87.4kmの広域幹線道路であり、道央と道東を結ぶ国道274号の補完ルートにもなっている。また、札幌方面からトマムリゾート、かなやま湖などの観光地への最短ルートであり、北海道横断自動車道占冠IC、トマムICとアクセスすることから観光、物流の広域ネットワーク路線として重要な路線である。当該区間は急勾配、急カーブなどの隘路区間の解消を目的とした、トンネルを含む延長2.8kmの2車線整備である。						
H6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H6年度用地着手		H7年度工事着手		
全体事業費	約202億円		事業進捗率	37%		供用済延長	0 km
計画交通量	3,460台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 2.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 122/185億円 (事業費：116/179億円 維持管理費：6/6億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 259/259億円 (走行時間短縮便益：253/253億円 走行費用減少便益：6/6億円 交通事故減少便益：0/0億円)	基準年 平成15年			
感度分析の結果	交通量変動：B/C=1.5(交通量+10%) B/C=1.2(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.3(事業費+10%) B/C=1.5(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.3(事業期間+20%) B/C=1.5(事業期間-20%)						
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車すれ違い困難区間を解消する。） ・個性ある地域の形成（主要観光地トマムリゾート地区等へのアクセス向上が期待できる） ・災害への備え（現道等の冬期交通障害区間を解消する。） 他2項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見	夕張新得線は、トマムリゾート地区等への観光ルート、北海横断自動車道占冠ICへのアクセスする物流強化ルートとして重要な役割を果たすことが期待されされており、占冠村をはじめとする4市18町2村の首長で構成する上川地方総合開発期成会から早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業着手後に、北海道横断自動車道の千歳恵庭JCから夕張ICまでが平成11年10月に供用し、トマムICから十勝清水IC間の整備が平成19年供用に向けて進捗している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成15年度までに、用地買収が完了し、赤岩トンネルの掘削がL=880m進捗している。残事業は、トンネル掘削L=1,235m、路盤工L=600m、赤岩大橋L=94mである。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業着手後に、地すべりが当初想定以上の規模・範囲であることが確認され、ルートや工法の検討に時間を要したが、平成15年度まで設計が完了し、全線にわたり工事を進めており、平成18年度に全線供用予定である。						
施設の構造や工法の変更等	舗装合材には再生合材を採用する等コスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続（予定）						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。